

小平市障がい児療育支援等委託事業（小平市連携事業）

杉山 貴洋・両角 美映*

活動実績の概要

小平市連携療育委託事業は、市内在住の障がいのある子どもの発達支援と、障がいの理解を深めることを目的として、以下6つの活動を実施している。活動の目的は、障がいのある子どもの発達支援、保護者や市民に対する障がい理解の促進、学生の個別支援の実践力の向上である。また、2022年度も新型コロナウイルスの影響を受け、感染対策に配慮しながらの実施となった。

（1）造形を通して子どもの発達を促すワークショップ

1 火曜造形ワークショップ：3歳から就学前の幼児を対象に、年間13回を実施する。2022年度は「はらぺこレストラン」で不思議な料理を工作でつくるという設定で工作のワークショップを実施した。（ファシリテーター：津軽蘭名江、大羽ゆみ：個別支援担当、杉山ゼミナール3、4年）

2 土曜造形ワークショップ：小学生（小1～小3）を対象に、年間13回を実施する。クイズではじまるワークショップをテーマに様々な造形活動を実施した。（ファシリテーター：杉山貴洋、小川菜美乃：個別支援担当、子ども学科 発達臨床学科 学生有志）

（2）演劇を通して大学生との交流を図るワークショップ

小学生（特別支援学校、特別支援学級、特別支援教室、通級指導学級、通常学級に通う小学生）を対象に、年間2回（同公演2日間を夏と春2回）の公演を実施する。

夏の演劇ワークショップ：絵日記大冒険！～スィアとカイスと過ごした1日～

春の演劇ワークショップ：ルフラカランドへご招待！～うばわれた色をとりもどせ～

（3）おやこでたのしむおもちゃとあそびの広場

就学前の乳幼児及び小学生とその保護者を対象に、年間24回実施した。

（4）障がい理解啓発事業

障がいに対する理解啓発を図るため「地域で障がいのある子とその家族を支えていく」というテーマで市民講座を年間3回実施した。

（5）障がいのある子どもの保護者のネットワークづくり支援（みんなではなそう会）

障がいのある子どもの保護者等を対象に、年間23回実施した。

（6）親子でちょこっとテニス

小学生（小4～小6）の児童とその保護者を対象に、年間12回を実施した。

*共同実施者